

第 2 回ぐんま緑の県民税評価検証委員会について

事業計画の提出があり、事業を早急に実施するため、書面開催（9月10日）として第2回ぐんま緑の県民税評価検証委員会を実施した。

1 報告事項

「荒廃した里山・平地林の整備 管理事業 下仁田町 中小坂(寺附)森林整備事業」について

(1) 事業目的

道路沿線の森林の全伐、藪刈払いにより、自然災害の防止、鳥獣害対策、景観改善を行う。

(2) 申請額

事業費：217,000 円 県補助金：57,000 円

審査結果 採択

(3) 理由

計画地は、平成30年度繰越市町村提案型事業（困難地整備支援）において実施した箇所である。良好な生活環境を維持するためには、継続した管理作業が必要であり、地域での管理が可能なため採択とした。

(4) 現地写真



2 協議事項

「独自提案事業 高崎市 クビアカツヤカミキリ対策事業（薬剤による樹幹注入）」について

(1) 事業目的

市内の樹木（モモ、サクラ）にクビアカツヤカミキリによる被害が発生している。被害を放置すれば、市内や他市町村にも被害が拡大するため、早急な駆除及び防除対策が必要である。

(2) 申請額

事業費：11,196,000 円 県補助金：5,598,000 円

審査結果 条件付採択

(3) 理由

クビアカツヤカミキリ対策におけるぐんま緑の県民税事業の対象は、被害木の薬剤注入による駆除事業だが、事業計画は、市内全域を防除区域とし、特にサクラの名勝地での予防対策を計画している。ぐんま緑の県民税は被害木から拡散し将来の森林環境への影響を防止するという主旨であるため、被害木を確定したうえでの薬剤注入事業のみ、採択としたい。

(4) 委員意見（全員承認で一致）

- ・深刻な被害が予想される問題であるため、積極的な対応をお願いしたい。
- ・クビアカツヤカミキリ対策については早期に行うことが、効率的であると思われる。
- ・未被害木の保全というと広範囲にわたり事業費がかかるため、被害木周辺などある程度の制限が必要。
- ・県として予防対策の必要性について議論が必要であると思われる。またそれについてはその他の財源で実施すべきとも考える。

(5) 現地写真

